

第7章 離島保健医療対策

【対象地域】

へき地保健医療対策は「愛知県へき地医療対策実施要綱」に基づき推進しています。

また、本章は厚生労働省通知に基づく「第11次愛知県へき地保健医療計画」の位置づけも有しています。

【現状と課題】

現 状

1 医療機関の状況

- 当医療圏に所在する篠島、日間賀島の2島は、離島振興法に基づく離島振興対策実施地域として指定され、平成25年10月1日現在の人口は、篠島が1,814人、日間賀島が2,063人であり、老年人口の割合は、篠島が30.2%、日間賀島が29.7%となり、県平均の22.3%と比較すると高い地域となっています。(表7-1、表7-2)
- 篠島には、県が「へき地診療所」と指定した厚生連知多厚生病院附属篠島診療所があります。歯科診療業務については、個人の医師によって開設された歯科診療所が1か所あります。(表7-3)
- 日間賀島には、個人の医師によって開設された医科診療所と歯科診療所が1か所ずつあります。(表7-3)
- 離島周辺の南知多町及び美浜町内には、病院が3か所、医科診療所が19か所、歯科診療所が21か所あります。(表7-4)
- へき地医療拠点病院である厚生連知多厚生病院は、篠島診療所を運営するとともに、日間賀島の診療所とも連携を図るなど、離島医療の積極的支援を行っています。
- 厚生連知多厚生病院へは、自治医大卒業生医師が派遣されています。

2 保健医療対策

(1) 南知多町の保健医療推進対策の状況

- 南知多町における主な保健事業の指標及び3大死因別死亡率の状況は、表7-5及び表7-6のとおりとなっています。
こうしたなか、同町では、離島の医療体制の充実、保健医療従事者の確保等について協議・報告するため、必要に応じて「南知多町離島保

課 題

- 篠島、日間賀島の両島とも、診療所医師の確保等診療体制の充実、さらには休日、夜間の救急医療体制の整備が期待されます。
- 医科診療所の数は減少しており、また、現在開業している診療所医師の高齢化も進んでいることから、離島周辺地域における医療の確保が難しくなっています。
- 人口の高齢化あるいは慢性疾患等の疾病の構造的変化などにともない、最近、住民ニーズは、保健、医療、福祉を複合的に関連させたものが多くなる傾向にあります。
このため、これらのニーズに十分対応

健医療対策連絡協議会」を開催します。

- 南知多町では、篠島・日間賀両島において、65歳以上を対象に、下半身の筋力やバランス感覚を高めることを目的とした「はつらつ教室」を、60歳以上を対象に「閉じこもり予防教室（ふれあいクラブ）」を、また、老人クラブを対象とした高齢者健康教育等を開催して、高齢者のQOL（日常生活の質）の向上を目指しています。
- 南知多町は、臨時雇用の管理栄養士、歯科衛生士を配備し、生活習慣病予防対策の充実を図っています。

(2) 保健所の保健対策

- 半田保健所は、離島住民に対し、保健活動の浸透を図り、健康の保持増進を推進するため、町の基本計画への参画及び推進に係る支援を行っています。

(3) 地区医師会、歯科医師会、薬剤師会（以下「医師会等」という。）による保健医療対策

- 地区医師会等は、南知多町に協力し、特定健診、予防接種、成人歯科検診や、学校医・園医の派遣による児童生徒・園児の保健医療の向上など、地域の保健医療の確保・向上に努めています。

3 医療連携体制

- 厚生連知多厚生病院では、地域医療懇話会を開催し、南知多町、美浜町及び医師会と医療提供体制及び地域医療のあり方について検討しています。
- 厚生連知多厚生病院では、平成 21 年 8 月から導入されている電子カルテの内容について、篠島診療所に通院している患者に係るデータを、同診療所においても閲覧できるシステムを構築しています。

4 ドクターヘリ及び防災ヘリ

- 救急患者の搬送は海上タクシーが利用されていますが、重症の救急患者については、平成 14 年から、愛知医科大学病院を基地病院とするドクターヘリ事業が実施され、救急体制の整備が進んでいます。
- ドクターヘリが運行できない夜間を中心に、愛知県防災航空隊ヘリコプターが救急広域搬送を行います。

5 AED による早期除細動の実施

できる医療体制等の整備が必要です。

- 高齢化の進展とともに、高齢者に比較的多いとされる慢性疾患の治療、リハビリ診療体制の整備についても検討する必要があります。

- 離島診療所等とへき地医療拠点病院である厚生連知多厚生病院とのより一層の連携強化が期待されています。

- 篠島及び日間賀島の両島には、現在 AED が設置され、緊急時に対応できる体制をとっています。
- 緊急時に的確な対応ができるよう、地域住民が AED を容易に操作できる体制づくりが期待されています。

【今後の方策】

- 南知多町が設置する「南知多町離島保健医療対策連絡協議会」等を活用し、離島における保健、医療、福祉の総合的な提供体制の整備を図ります。
- 離島診療所における医師の常駐等による診療体制の充実、休日、夜間の救急医療体制の整備を図ります。
- 保健サービスの充実を図り、離島住民の健康づくりの推進に努めます。
- 離島診療所とへき地医療拠点病院である厚生連知多厚生病院とのより一層の連携強化を図り、離島住民に対する医療体制の充実に努めます。

(参考図表)

表 7-1 離島の面積、人口 (平成 25 年 10 月 1 日現在)

区分	面積 (k m ²)	人 口			世 帯 数 (世帯)
		総 数 (人)	男 (人)	女 (人)	
南知多町全域	38.25	19,381	9,324	10,057	7,121
篠 島	0.94	1,814	898	916	627
日間賀島	0.77	2,063	997	1,066	635

資料：「あいちの人口」(愛知県県民生活部)

篠島、日間賀島は住民基本台帳による数値

面積は平成 24 年 10 月 1 日現在 (国土地理院調査)

表 7-2 年齢 3 区分人口 (平成 25 年 10 月 1 日現在)

区 分	総人 口	0～14 歳		15～64 歳		65 歳以上	
		(年少人口)	構成比	(生産年齢人口)	構成比	(老年人口)	構成比
南知多町全域	19,381	1,967	10.1	11,212	57.8	6,227	32.1
篠 島	1,814	224	12.3	1,043	57.5	547	30.2
日間賀島	2,063	271	13.1	1,179	57.1	613	29.7

資料：「あいちの人口」(愛知県県民生活部)

篠島、日間賀島は住民基本台帳による数値

注：年齢不詳者がいるため年齢三区分の合計値が一致しない。

表 7-3 離島診療所の状況 (平成 25 年 10 月 1 日現在)

所在地	診療所	診療科目	診療日	診療時間
篠 島	厚生連知多厚生病院 附属篠島診療所	内科・小児科	月・火・木・金曜日	10:00～12:00
			水曜日	14:00～16:00
	個人開設診療所	歯科	木曜日	9:00～12:00 13:00～16:00
日間賀島	個人開設診療所	内科・外科 皮ふ科	火・金曜日	9:00～12:00 15:00～17:00
			水・土曜日	9:00～12:00
	個人開設診療所	歯科・小児 科	月・火・水・金・土 曜日	9:00～12:00 14:00～18:00

資料：保健所調査

表7-4 離島周辺の病院、診療所の状況 (平成25年10月1日現在)

区分	病院数	病院病床数						一般診療所				歯科診療所		
		総数	人口万対	一般	結核	精神	感染症	施設数	人口万対	有床施設数	病床数	無床施設数	施設数	人口万対
南知多町	1	271	139.8	0	0	271	0	11 (2)	5.7	0	0	8 (2)	10 (2)	5.2
美浜町	2	370	150.5	364	0	0	6	8	3.3	1	19	5	11	4.5

資料：「病院名簿（愛知県健康福祉部）」、保健所調査
なお、()内は離島内施設数で再掲分

表7-5 主な保健事業の指標の状況 (平成23年度)

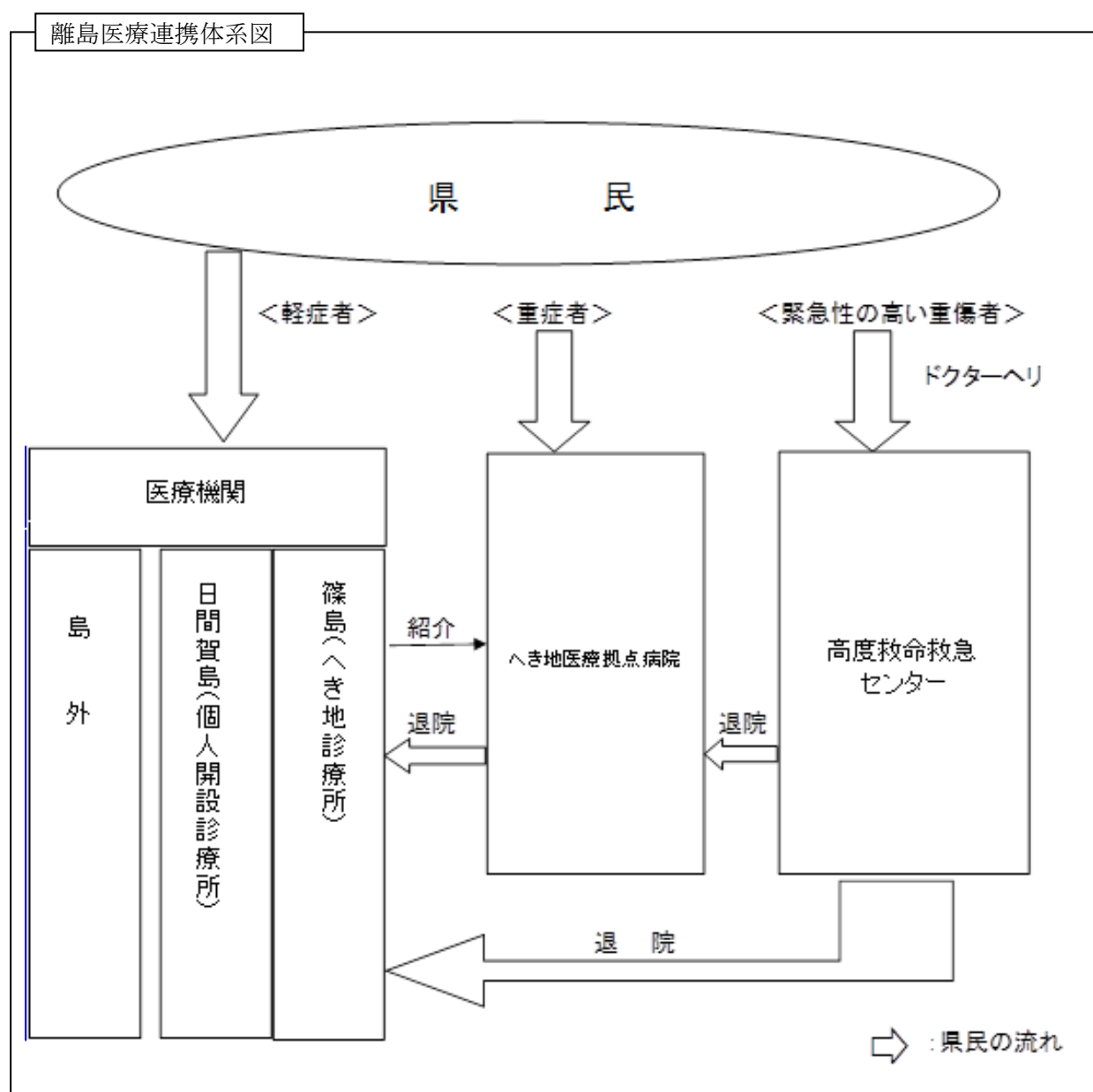
区分	老人保健	母子保健	歯科保健
	特定健康診査受診率 (%)	3歳児健康診査の受診率 (%)	3歳児のむし歯有病率 (%)
愛知県	35.8	* 94.6	* 14.7
南知多町	35.5	97.8	19.9
篠島	47.8	93.3	0
日間賀島	57.7	100.0	4.8

資料：平成24年（平成23年度分）特定健康診査等の実施状況に関する結果（法定報告）について（愛知県健康保険団体連合会）、母子健康診査マニュアル報告（愛知県健康福祉部）
注：*印は、名古屋市を除いた数値

表7-6 3大死因別死亡率の状況（人口10万対） (平成24年)

区分	死亡者総数	全体	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
愛知県	61,354	826.2	243.8	116.5	75.2
南知多町	318	1,609.2	409.9	283.4	96.1
篠島	34	1,855.9	545.9	382.1	109.2
日間賀島	35	1,666.7	523.8	238.1	47.6

資料：平成24年人口動態統計（確定数）の概況（厚生労働省）



<離島医療連携体系図の説明>

- へき地診療所とは、原則として人口 1,000 人以上の無医地区等において、住民の医療確保のため市町村等が開設する診療所です。
- へき地医療拠点病院とは、無医地区における巡回診療や、へき地診療所への医師の派遣などを行う病院です。
- 篠島及び日間賀島の診療所は、へき地医療拠点病院の厚生連知多厚生病院と連携しています。緊急性の高い重傷者等は、ドクターヘリを利用することもあります。
- ドクターヘリとは、最新の医療機器を装備し、救急医療の専門医・看護師が搭乗した専用ヘリコプターです。
- このほか、篠島及び日間賀島には、個人開設の歯科診療所が各 1 カ所あります。

※ 具体的な医療機関名は、県計画の別表に記載してあります。